

子どもは新しい集団で どのように学ぶか

上越教育大学 学習臨床コース

学習過程臨床分野 学部4年

海村 由紀

0 . 本日の発表内容

- ・ 研究の背景と目的
- ・ 研究の方法
- ・ 調査の概要
- ・ 結果
- ・ 調査
- ・ 結論
- ・ 今後の課題

1. 背景と目的

(1) 背景

文部科学省(2003)

「少人数学級の編成により、教員が細やかに対応ができるようにすることを目指している。」

辺土名(2003)

学習者は『立ち歩き』によって学習環境の構築を試みている。また、成員同士の理解を深めることにより、仲間の位置づけを行っている。

(2) 目的

- 1) 児童Nの新しい集団での学びの様相を論述する。
- 2) 少人数編成授業の実態と効果を明らかにする。

2. 研究の方法

(1) 調査対象

新潟県内公立小学校 児童N(現在3年生)

(2) 調査単元

2年:算数, 3年:算数, 社会, 国語

(3) 調査期間 2003年3月~10月

(4) 調査方法

ビデオカメラ, カセットテープレコーダー,

ICレコーダー:児童Nの音声と映像を記録

3. 調査の概要

2年生の冬, 3年生の春, 3年生の秋, 3年生の少人数編成のクラスでの授業で, 以下の6項目の行動に注目した。回数を数え, 各項目に関する1授業あたりの平均を出した。

教師・・・教師との会話

友達・・・クラスの仲間との会話

独話・・・特定の相手がいない発話

立ち歩き・・・席を立って動き回る様子

発表・・・挙手して指名された発言

訪問・・・友達がNの席に見に来る

4. 結果・1

	2年生・冬	3年・春	3年・秋
教師	3.5回	0回	4.7回
友達	26.5回	9.5回	10回
独話	22.5回	2.5回	19.5回
立ち歩き	4.5回	0回	1.6回
発表	0回	0回	1.8回
訪問	0回	0回	1.3回

5. 調査1: 2年生・冬

H.15年3月10日 N 2年生 算数

事例・1 立ち歩きによる学びの Protokol

< 各自問題を解く場面, 教師が机間指導をしており丸を付けに来る >

T: はい, いいよね。(と言いながらNのノートに丸をつける)

N: いえーい。

< 立ち上がってMのほうへ行こうとするところを教師に押さえられる >

T: はい, すぐノートに書きなさい。

< 教師が去ると席を立ってMのところへ行き, 解答の確認をする >

事例・2 クラス仲間の位置づけの Protokol

平成15年3月10日 N 2年生 算数

< 黒板を使って問題を確認する場面 >

T: 問題文を読んでごらん。どうぞ。

N: でも63...

T: じゃあこれを使って。

M: 4は全部できる。

N: (Mに向かって)でも68になるのではないの？

事例・3 クラス仲間の位置づけの Protokol

平成15年3月13日 N 2年生 算数

< 各自, 問題を解く場面。

隣の児童を叩いてノートを見せる >

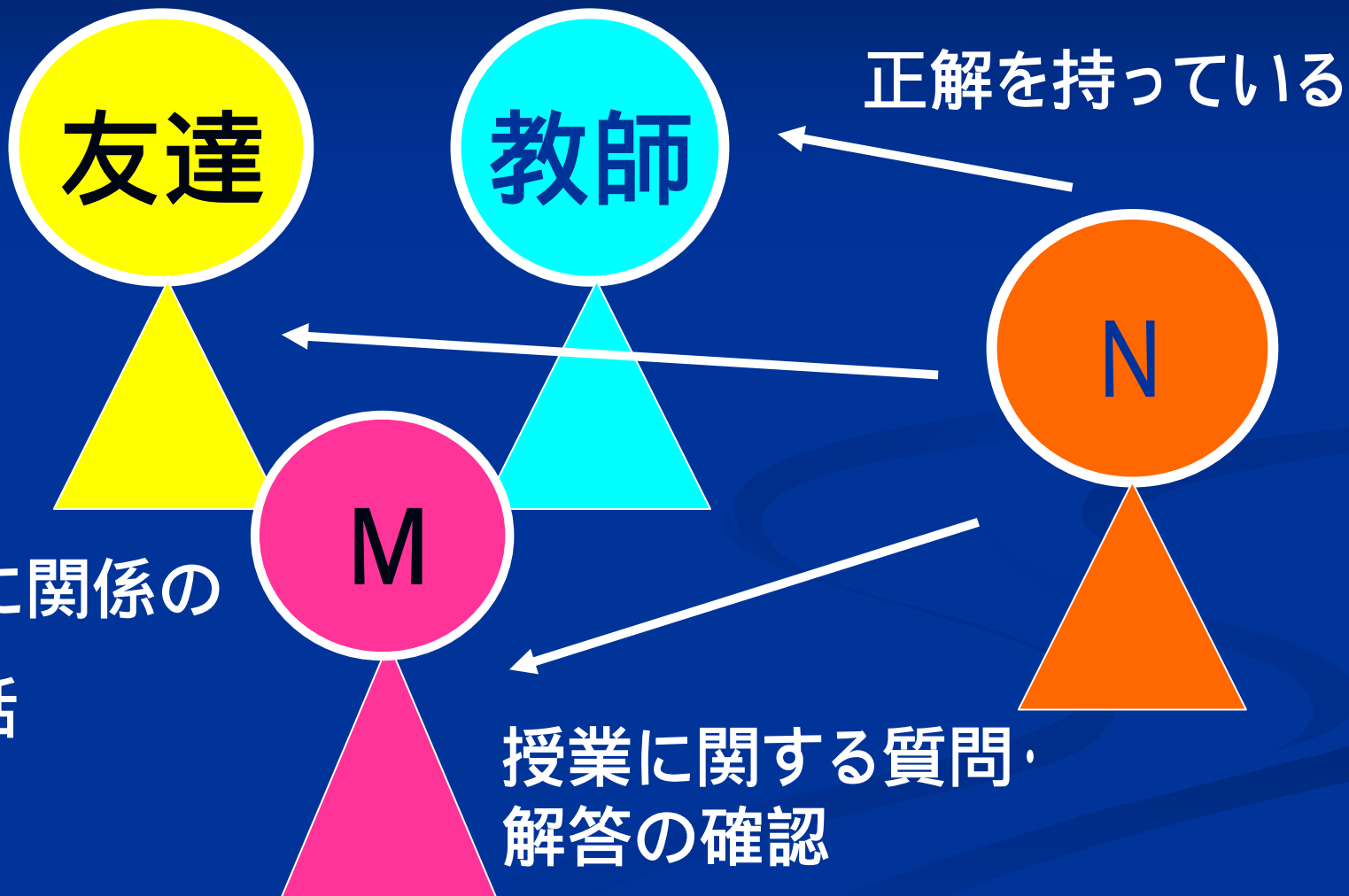
N: “あたしんち”のお母さん, バリバリ...

T: はい, 手を下ろして。手を下ろしてください。姿勢をよくしましょう。きちんと座りましょう。

< 隣の児童を呼んで微笑む >

N: ねーねー。(ノートをさす)

2年生・冬での仲間の位置づけ



2年生・冬の特徴

- ・クラスに馴染んでいる
- ・立ち歩きが有効な学びの手段
- ・状況によって人を選んで話をしている

立ち歩きをして、Mと教師の解答と照らし合わせることによって学んでいる

調査2：3年生・春

	2年生・冬	3年・春	3年・秋
教師	3.5回	0回	4.7回
友達	26.5回	9.5回	10回
独話	22.5回	2.5回	19.5回
立ち歩き	4.5回	0回	1.6回
発表	0回	0回	1.8回
訪問	0回	0回	1.3回

事例・4 友達との会話の Protokol

H.15年5月1日 N 3年生 算数

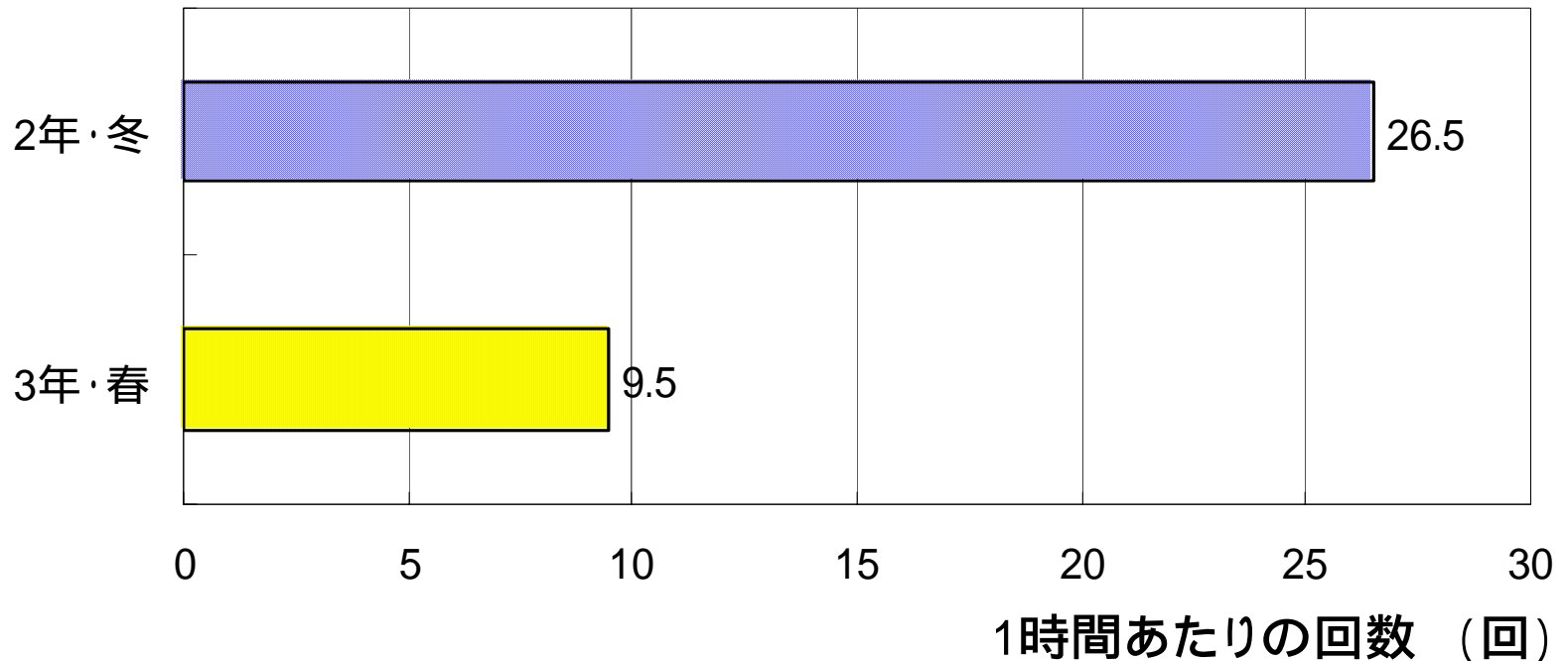
< 黒板を写し, 各自計算をする場面 >

T: はい, ではちょっとここまで書けた人, 顔あげてください。鉛筆置きましょう。

N: (隣の席の児童に向かって) ねえ, 何本なった?

2年生・冬と3年生・春の 友達との会話数の比較

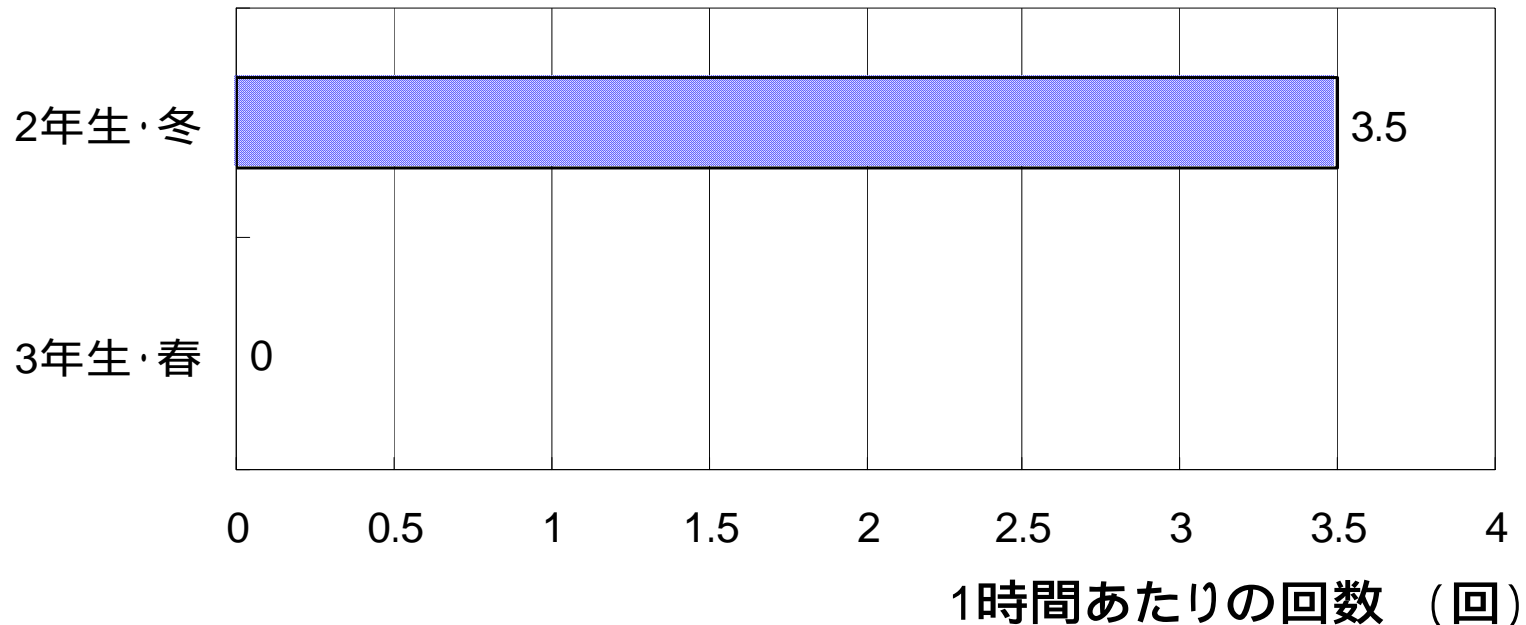
友達との会話数



2年の冬と比較すると、会話数が減っていることから、3年の春ではまだ、クラスに馴染めていない。一人で学んでいる。

2年生・冬と3年生・春の 教師との会話数の比較

教師との会話数



2年の冬と比較すると、会話数が減っていることから、3年の春ではまだ、クラスに馴染めていない。一人で学んでいる。

3年生・春での仲間の位置づけ



たまに相談する

つながりがない

3年生・春の特徴

- ・新しい集団に馴染んでいない
- ・不安げに友達に相談している
- ・一人学びのスタイルだが、そのスタイルに満足していない

時折友達に確認するが、
一人で学んでいる

調査3：3年生・秋

	2年生・冬	3年・春	3年・秋
教師	3.5回	0回	4.7回
友達	26.5回	9.5回	10回
独話	22.5回	2.5回	19.5回
立ち歩き	4.5回	0回	1.6回
発表	0回	0回	1.8回
訪問	0回	0回	1.3回

事例・5 自ら発言しているプロトコル

H.15年10月23日 N 3年生 社会

<リサイクルコーナーについて話し合っている場面>

N: はい!

T: 他には? Nさんどうぞ。

N: 肉とか魚のってる, あの, 何か, トレー。取れないト
レー。

T: 発泡スチロール。他にもある?

N: もうないよ。ナルスにね, プラスチックのトレーの捨
てる場所あるよ。

事例・6 友達が見にくるプロトコル

平成15年10月24日 N 3年生 国語

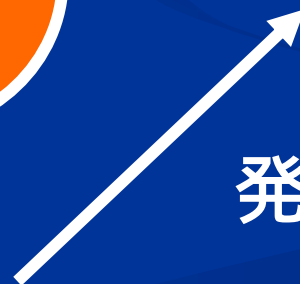
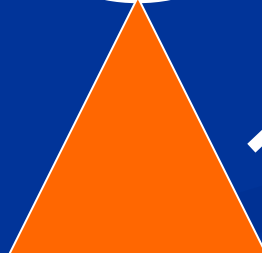
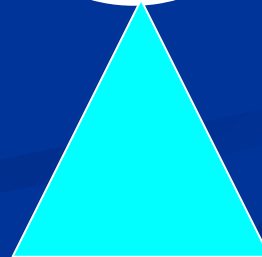
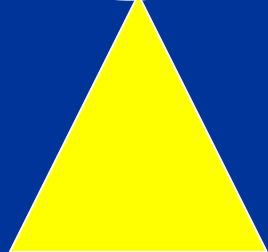
< 修飾語を使って文を作る場面。 友達がNの席へくる >

N0: これこのやつ?

N: 私はしました。私は遊びました。私は昨日遊びました。

N0: 私は君と遊びました。わた…。

3年生・秋での仲間の位置づけ




授業に関することを確認

発表して意見を言う

3年生・秋の特徴

- ・自ら挙手して発言している
- ・クラス集団に馴染むことができている
- ・Nが立ち歩く代わりに、友達が見にきている

学びの様相が変わった



積極的に発言し、2年生の時とは
反対に友達がNのところへ聞きに
来ることによって学んでいる

6. 結論・1

1) Nの新しい集団での学びの様相

Nは集団によって

仲間の位置づけをしている。



位置づけによって自分が置かれた状況で、**自分にとってよりよい学びのスタイル**を見つけ、学んでいる。

7. 結果・2

	2年・冬	3年・春	3年・秋	少人数
教師	3.5回	0回	4.7回	9.1回
友達	26.5回	9.5回	10回	4.5回
独話	22.5回	2.5回	19.5回	25.5回
立ち歩き	4.5回	0回	1.6回	2.8回
発表	0回	0回	1.8回	0回
訪問	0回	0回	1.3回	0回

8 . 調査4 : 3年生・少人数クラス 事例・7 教師に質問しているプロトコル

15年10月17日 N 3年生 算数

N : 先生, 先生, 先生, 先生, 先生, 先生, 先生これって。

隣 : これ丸つけんだよ。

N : 違う。これだよ。 先生これって何個丸つけていいの？

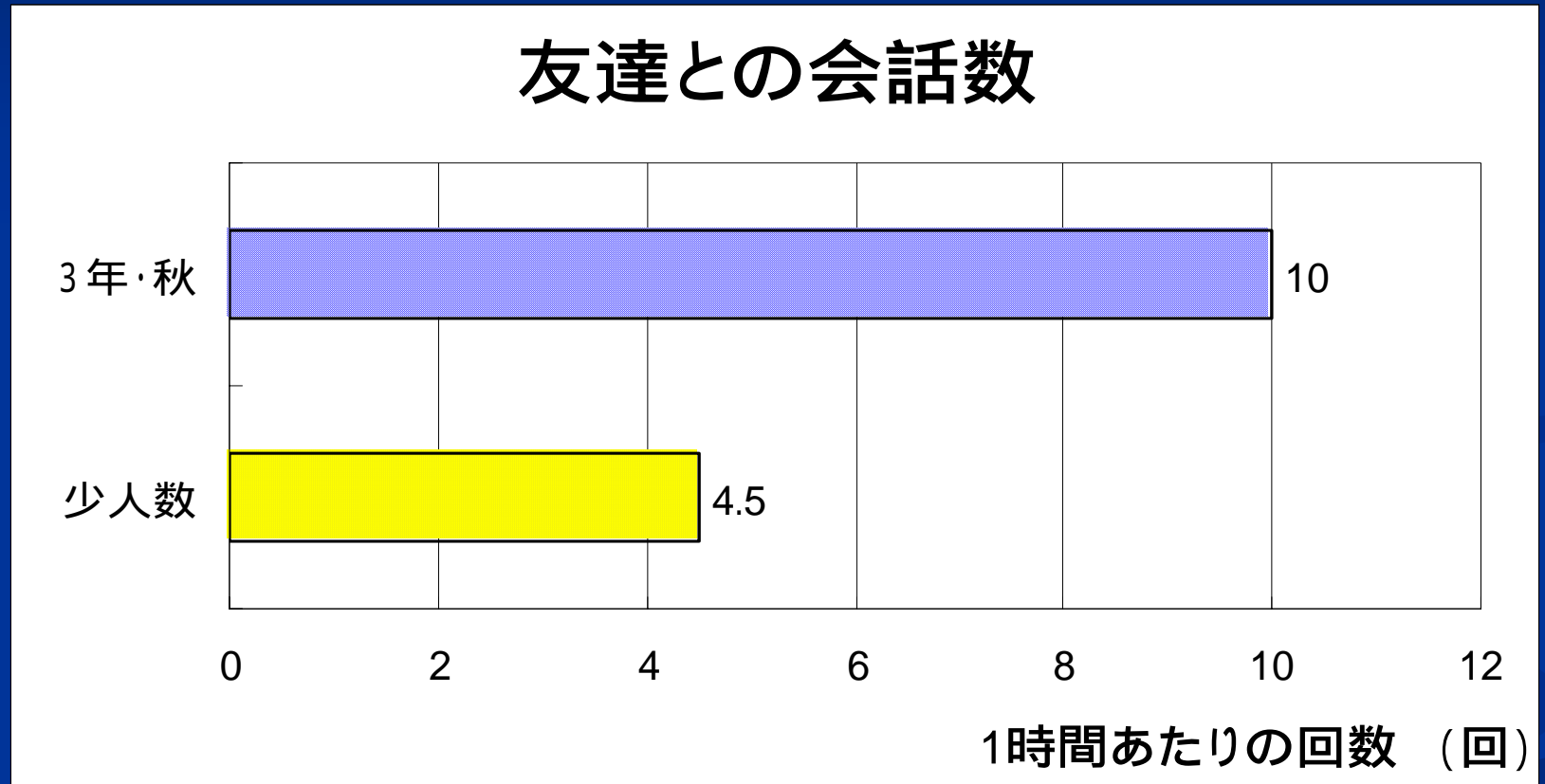
T : 当てはまるものぜーんぶ。

N : よっし。なんだこの2。 先生丸つけてどうやって書くの。
ねーなんでこれ書いてないの？ 先生 これ書いてない。
一番下の問題。

T : 書いといて。

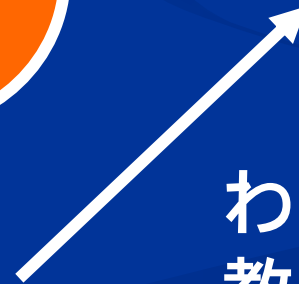
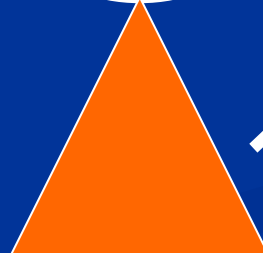
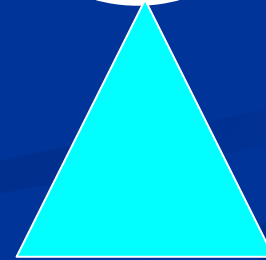
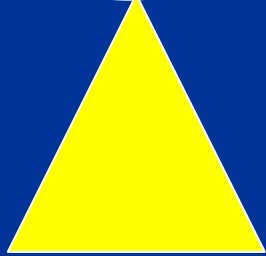
N : 書いといてって言ったって間違えてたらどうすんの。 先
生プリーズ。 先生もう一枚プリントないんだけど。1, 2,
3, 4しかないんだけど。

自分のクラスと少人数クラスでの友達との会話数の比較



3年・秋と比較すると、友達との会話数が減っていることがわかる。

少人数クラスでの仲間の位置づけ



あまり話をしない

わからないことを
教えてくれる

3年生・少人数クラスの特徴

- ・教師との会話が増加した
- ・立ち歩き，友達との会話が減少した



教師に質問することによって
学んでいる

9. 結論・2

2) 少人数編成授業の実態と効果

教師との物理的，精神的

距離が近づき，

会話数が増えた。



意欲的に学ぶことができている

しかし・・・

一方で、

友達との会話数が減っている。

**友達との学び合い
ができていない**

少人数編成授業において**友達との学び合いが減っている**。今後、この現状に注目し、改善していく必要があると考えられる。

10. 今後の課題

今回の発表では一人の児童に注目した。今後、クラス全体に視野を広げ、児童の関わり合いの変容を見て行きたい。